

第5回 青森市総合計画審議会 第4分科会 議事要旨

【日 時】平成30年11月20日（火）14時00分～15時30分

【場 所】青森市役所本庁舎 3階 福利厚生室

【出席者】井上 隆 分科会長、木村 克己 委員、本田 明弘 委員、
森内 忠良 委員 計4名

【欠席者】大坂 美保 委員

【オブザーバー・傍聴者等】なし

【関係部局】廣津総務部参事危機管理監危機管理課長事務取扱、竹内環境部参事廃棄物対策課長事務取扱、西澤環境政策課長、西村下水道総務課長、松尾下水道整備課副参事、本堂建築指導課長、熊谷用地課長、星出建築営繕課長、遠嶋都市政策課副参事、須藤住宅まちづくり課副参事、小田道路建設課副参事、赤坂企業局交通部理事次長事務取扱、田澤青森地域広域事務組合事務局総務課長、長谷川青森地域広域事務組合消防本部警防課長、進藤青森地域広域事務組合消防本部警防課副参事 計15名

【事務局】館山企画調整課長、須藤企画調整課主幹、角田企画調整課主事、久保企画調整課主事 計4名

【配付資料】

- ・次第
- ・基本構想（素案）に係る地域説明会・浪岡自治区地域協議会・学生説明会の結果について〔資料1〕
- ・青森市総合計画 基本構想（原案）〔資料2〕
- ・各政策における「現状と課題」「基本方向」「主な取組」一覧表〔資料3〕
- ・青森市総合計画 前期基本計画（素案）【第4分科会 関連部分】〔資料4〕
- ・青森市総合計画 前期基本計画（素案）【推進体制】〔資料5〕

【会議の概要】

○配付資料を基に、事務局から説明した上で、各委員が意見を出し合った。

○審議、質疑応答の概要

■「基本構想（素案）に関する地域説明会・浪岡自治区地域協議会・学生説明会の結果」について

（委員）

- ・多くのご意見があり、中には面白いご意見もある。
- ・地域説明会に委員の皆様も参加していれば、もっと面白かったと思う。

■「各政策における「現状と課題」「基本方向」「主な取組」一覧表」について

「5 つよい街」の「現状と課題」「基本方向」「主な取組」

(委員)

- ・とても良い方向に修正された印象を持っている。

「6 かがやく街」の「現状と課題」「基本方向」「主な取組」

(委員)

- ・先程のところと同じように、良い方向で修正が行われているのではないか。

■「青森市総合計画 前期基本計画（素案）【第4分科会 関連部分】」について

「5-1 防災体制・雪対策の充実」の指標

(委員)

- ・目標値の数値はいつ頃入る予定か。

(事務局)

- ・年明けの予定である。

(委員)

- ・3 ページに指標「防災訓練や研修の実施回数」82 回とあり、企業でも防災訓練等を行っていると思うが、その実施回数も含まれているのか。

(事務局)

- ・この実施回数は、自主防災組織が実施する防災訓練や、市に対し依頼があった研修に職員を派遣し実施した研修等である。

(委員)

- ・企業の防災訓練等は含まれていないとの認識でよろしいか。

(事務局)

- ・はい、含まれていない。

(委員)

- ・私が勤務していた企業では、消防署から防災組織を作り、避難訓練や防災訓練を行うよう指示等があったが、その実施回数は入らないということか。

(事務局)

- ・はい。

(委員)

- ・職場にいる際に災害が起こる場合があるため、町内会の自主防災組織が実施する防災訓練等の実施回数だけでなく、企業が実施する防災訓練等の実施回数も、消防署等と連携を図りながら、把握する必要があるのではないか。
- ・小学校等でも避難訓練等を行っているはず。この 82 回が何を指しているのか、また、将来的には企業や各地域の小学校・中学校等で実施した避難訓練等も把握する必要があると思う。
- ・第4分科会としては、前期基本計画（素案）で設定する指標と基準値を、事務局で調整

した自主防災組織が行う防災に係る訓練や研修の実施回数 82 回とし、それとは別に、担当部局で出来るだけ市内の色々な団体が実施している防災訓練等のデータを収集しておいていただければと思うが、事務局でもそのような対応でよろしいか。

(事務局)

・はい。

(委員)

- ・ 5 ページの克雪体制の整備のところに、ボランティア団体という文言があり、指標には青森市ボランティアポイント制度という文言がある。その制度は、特徴があるものだと思っており、その制度をもっと前面に出した方が良いかと思う。
- ・ 青森市ボランティアポイント制度における雪対策支援分野とあるため、他にも分野があると思うが、災害や防災関係にも、この制度は有効ではないか。
- ・ 例えば、2 ページの施策の体系で、防災体制・雪対策の充実の 5 つ目に、ボランティアポイント制度の拡充のように追記する、または、基本方向の中に 1 行位そういう文言を追記するなど。
- ・ 5 ページの克雪体制の整備の指標は、この設定したとおりでよろしいと思う。

(事務局)

- ・ ボランティアそのものの活動は様々あるが、この青森市ボランティアポイント制度は始まったばかりで、分野としては福祉部門の高齢者対策、介護対策などが主となっている。この 5 ページの分野では雪に特化した内容であるが、これもどちらかと言うと福祉的な視点であることから、この克雪体制の整備で強く押し出すというより、福祉の視点での分野で、検討してもらおうと考えている。

(委員)

- ・ この制度については、他の分野で検討していただくということで、5 ページのところはこの設定した指標のとおりでよろしいと思う。
- ・ 5 ページの 2 つ目の指標の 508 人というのは、増える傾向にあるのか。

(事務局)

- ・ 制度が始まったばかりで、傾向はこれからになるかと思う。

(委員)

- ・ 5 ページの雪捨て場の設置箇所について、小学校の校庭等も雪捨て場ということで市民が利用していると思うが、それらも含むのか。
- ・ 35 箇所というのは、どの程度の範囲を含んでいるのか。

(事務局)

- ・ 除排雪事業者が雪を捨てに行く場所であり、主に埠頭や戸山団地などで、小学校は含んでいない。
- ・ あくまでも機械除排雪ということで、市民が雪かきをして持っていく市民雪捨て場は、町内会が空地を借り上げている場所もあるため、そういった場所は含んでいない。

(委員)

- ・市民には、この指標で記載している雪捨て場がどのような範囲を指すのだろうか、疑問に思う方がいるかもしれないので、説明書きにもう少し詳しく、どの範囲を指すということを書いた方がよろしいかと思う。市民の実感としては 35 箇所だけではなく、雪捨て場は市内に何十箇所もあるはずだと思ふ方がいると思う。

「5-2 土地利用・都市景観の形成」の指標

(委員)

- ・11 ページだが、公園の整備に関する指標はないのか。公園は緑豊かだが、そこに設置されている遊具等は老朽化しており、そのような老朽化した危険箇所の整備等、公園の整備に関する指標があれば、設定した方が良く思う。
- ・公園の整備に関する指標を設定するのは難しいという印象がある。
- ・この前期基本計画（素案）で設定することではないと思う。
- ・形や目に見えないものを数値化することが非常に難しいところである。

(事務局)

- ・従前から景観に関する指標はすごく難しく、過去にも数値化できる指標があまりなく、市民意識調査による満足度を使わざるを得ない状況であった。

(委員)

- ・間接的な指標だと感じる。もちろん、緑化活動に係る団体数が増えることは良いが、そのことと都市景観が形成されているかは別ではないかと感じるため、事務局で少し検討いただきたい。

「5-3 交通インフラの充実」の指標

(委員)

- ・青森港へのクルーズ客船の寄港数が毎年増えているため、これを指標に設定しても良いような気がする。
- ・14 ページの観光入込客数の他に、貨物に関する指標を入れてはどうかと思う。それから、15 ページの指標について、絶対数という設定だが、人口減少が進んでいることを考えると、人口比率でも良いような気がする。
- ・青い森鉄道の沿線市町村の人口は、長期的に減少していくことから、総人口を分母に、利用者数を分子にしたパーセンテージで設定した方が、パーセンテージを上げることは可能な訳である。人数をパーセンテージに切り替えるという検討をしていただき、簡単にパーセンテージを出せるのであれば、そうした方が良くも思ふ。それから公営路線バスの年間乗車人数も同じであるため、検討いただきたいと思う。
- ・東北縦貫自動車道八戸線の道路が、国道 4 号線に繋がれば人流は増え、物流も増えるだろうと思う。人流だけではなくて、他の要素も指標として入れてはどうか事務局で検討

いただきたいと思う。

「6-1 豊かな自然環境の保全」の指標

(委員)

- ・「豊かな森林の保護」の目標とする指標だが、よく広報あおもりで参加を呼びかけている浅虫や八甲田ロープウェイ周辺、梵珠山で行われる色々なイベントや、雲谷祭りなど、そのような環境関連イベントへの参加者数などが良いのではないか。把握するのは難しいと考えるが、一つの方法でなかろうかと考える。

(委員)

- ・同意見で、やはり環境に関わるイベントへの参加者数しか難しいのではないか。そういう意味では色々なボランティアの方が活動していると思うが、清掃、植樹、花壇など。これらの参加人数が良いかと考える。

(委員)

- ・以前、どれくらい青森市は自然環境の水準をもっているかという調査のため、確か八甲田山の方に生息している動植物の数をカウントしたことが30年位前にあり、日本でもトップクラスの数値が出て、大変優れた環境だということがわかった。しかし、あの調査は何年かおきにやっているわけではない。自然環境の保護に携わっている団体や個人の活動状況を目標とする指標に入れ込んでどうかということでも検討いただきたい。

「6-2 快適な生活環境の確保」の指標

(委員)

- ・「水洗化率」と「環境基準達成率」、私の知っている限りでは、この2つとも人口が30万人規模の都市としては、青森市は悪くない方の数字に入るはず。

「6-3 廃棄物対策の推進」の指標

- ・「市民1人1日当たりのごみ排出量」は、青森市は同規模の都市の中で割と多い方で、なかなか減らないという面はある。

■閉会